

新旧対照表

○請書（工事用）

新	旧
<p>15 発注者は、受注者が次の各号のいずれかに該当するときは、直ちに契約を解除することができる。</p> <p>(1) 役員等（受注者が個人である場合にはその者<u>その他経営に実質的に関与している者</u>を、受注者が法人である場合にはその役員又はその支店若しくは常時契約を締結する営業所の代表者<u>その他経営に実質的に関与している者</u>、受注者が団体である場合にはその代表者又は理事<u>その他経営に実質的に関与している者</u>をいう。以下この号において同じ。）が、延岡市暴力団排除条例（平成23年条例第22号。以下「条例」という。）第2条第3号に規定する暴力団関係者（以下「暴力団関係者」という。）であると認められるとき。</p> <p>(2) 条例第2条第1号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）又は暴力団関係者が経営し、又は経営に実質的に関与していると認められるとき。</p> <p>(3) 役員等が、暴力団員であることを知りながら、その者を雇用し、又は使用したと認められるとき。</p> <p>(4) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を<u>利用するなどしている</u>と認められるとき。</p> <p>(5) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるとき。</p> <p><u>(6) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしていると認められるとき。</u></p> <p><u>(7)</u> 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している認められるとき。</p> <p><u>(8)</u> この契約の一部を第三者に委任し、又は請け負わせる契約に当たり、その相手方が前<u>7</u>号のいずれかに該当する者と知りながら、その者と契約を締結したと認められるとき。</p> <p><u>(9)</u> 受注者が、第1号から第<u>7</u>号までのいずれかに該当する者をこの契約</p>	<p>15 発注者は、受注者が次の各号のいずれかに該当するときは、直ちに契約を解除することができる。</p> <p>(1) 役員等（受注者が個人である場合にはその者を、受注者が法人である場合にはその役員又はその支店若しくは常時契約を締結する営業所の代表者、受注者が団体である場合にはその代表者又は理事をいう。以下この号において同じ。）が、延岡市暴力団排除条例（平成23年条例第22号。以下「条例」という。）第2条第3号に規定する暴力団関係者（以下「暴力団関係者」という。）であると認められるとき。</p> <p>(2) 条例第2条第1号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）又は暴力団関係者が経営し、又は経営に実質的に関与していると認められるとき。</p> <p>(3) 役員等が、暴力団員であることを知りながら、その者を雇用し、又は使用したと認められるとき。</p> <p>(4) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を<u>利用した</u>と認められるとき。</p> <p>(5) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるとき。</p> <p><u>(6)</u> 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している認められるとき。</p> <p><u>(7)</u> この契約の一部を第三者に委任し、又は請け負わせる契約に当たり、その相手方が前<u>6</u>号のいずれかに該当する者と知りながら、その者と契約を締結したと認められるとき。</p> <p><u>(8)</u> 受注者が、第1号から第<u>6</u>号までのいずれかに該当する者をこの契約</p>

の一部を第三者に委任し、又は請け負わせる契約の相手方としていた場合（前号に該当する場合を除く。）に、発注者が受注者に対して当該契約の解除を求め、受注者がこれに従わなかったとき。

の一部を第三者に委任し、又は請け負わせる契約の相手方としていた場合（前号に該当する場合を除く。）に、発注者が受注者に対して当該契約の解除を求め、受注者がこれに従わなかったとき。